2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	母性看護学実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	3学年		学期及び曜時限		教室名	各実習施設
担 当 教 員	澤本　万紀子 泉　愛子	実務経験とその関連資格	澤本:助産師、看護助産専門学校教員・教育主事、行政職、看護部長を経験			

《授業科目における学習内容》

妊婦・産婦・褥婦・新生児の特徴を理解し、母子とその家族が地域で健康に暮らすための実践能力を養う。

《成績評価の方法と基準》

実習指導者・教員による行動目標の達成度評価、出席状況、事前課題などによる総合評価とする。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

《授業外における学習方法》

事前学習、課題学習を行う。

《履修に当たっての留意点》

臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける機会です。実習をより実りあるものにする為に学内での授業・実習をしっかり受講し、事前準備を万全にして臨んでください。

実習プログラム

実習期間 時間数	2023年　5月8日～11月2日 合計90時間
実習の目的	妊婦・産婦の経過を理解し、よりよい産褥期を迎えるための健康支援が理解できる。 産褥期の順調な経過をとるための援助ができる。 新生児の特徴を理解し、胎外生活適応のための看護援助ができる。 生命の尊厳、親について深め、述べることができる。 女性のライフサイクルを通してウェルネスの視点に基づいた看護について述べることができる
実習の内容	1)妊娠経過を学び妊娠管理の重要性について学ぶ。 2)妊婦の諸計測および健康診査について知る。 3)妊婦への保健指導について学ぶ。 4)分娩各期における産婦の生理的変化を学ぶ。 5)分娩経過に応じた日常生活援助を知る。 6)褥婦の退行性変化を踏まえ、復古現象の促進を学ぶ。 7)褥婦の進行性変化を踏まえ、乳汁分泌の促進を学ぶ。 8)褥婦の心理状態を知る。 9)育児をするための援助方法を知る。 10)母子相互作用の成立に向けての援助を学ぶ。 11) 褥婦の日常生活援助を知る。 12)新生児の生理的変化を知る。 13)新生児が胎外環境に適応するための呼吸・循環・体温の援助を学ぶ。 14)新生児の診察・検査の介助の必要性を知る。 15)新生児の安全確保と感染防止の看護援助を学ぶ。 16)妊娠・出産に関連する届け出等の手続きについて学ぶ。 17)社会資源の活用について知る。 18)保健医療福祉チームの一員として自覚した言動をする。 19)生命、親について自己の考えを述べる。 20)ウェルネスの視点に基づいた看護について言語化できる。